

「笑顔がゴール！」

手探りで始めたユニバーサル駅伝。11月1日に第3回を開催します。今年は八王子障害者団体連絡協議会様のご後援をいただきました。ありがとうございます。

10月に入ると準備に追われます。一般の駅伝はチームごとの参加ですが、ユニバーサル駅伝は個人でエントリーしていただき、私たち実行委員がチームを編成します。チームリーダーや伴走サポーターを含めた10チーム全員の名前を付箋に書き、年齢、性別、障がいの有無など、各チームのメンバーがバランス良く編成されるように付箋を移動させていくのです。ああでもないこうでもないと思いを悩ませつつも楽しい作業です。初めて会う人同士が自己紹介やコースの下見などをしながら、少しずつお互いの違いを知り合う場面を想像しています。

立場の異なる人たちがスポーツを通して交ざり合う場所。それがユニバーサル駅伝です。障がいのある人と、障がいとは関係なく生活している人との出会いの場所でもあります。机上の学びではなく、実際に関わり合うことを大切にしたいと思っています。

また、ユニバーサル駅伝は生涯スポーツだと言えます。何歳になっても、その人のスタイルで参加できるからです。足腰が弱っているなら腰かけた車椅子を押してもらって、もし陽射しを避けたいなら伴走サポーター



第3回はちおうじ ユニバーサル駅伝大会 2025.11.1 (土) 選手集合 8:50 開会式 10:05 競技スタート 10:20



歩いても走っても車いすでも誰でもOK。速さを競わない駅伝です。



当日決まるチームで協力！

協賛企業・団体も大募集中です！！

ボランティアも大募集！みんなで盛りあげよう！

1チームの編成・距離

選手5名（小学生以上）
伴走サポーター（中学生以上3名）
チームリーダー（高校生以上2名）
1区間約1km

主催：はちおうじユニバーサル駅伝大会実行委員会
後援：八王子市 八王子市教育委員会 社会福祉法人 八王子市社会福祉協議会
NPO法人 八王子国際協会 八王子障害者団体連絡協議会
NPO法人 八王子市レクリエーション協会
NPO法人 ジャパン ユニバーサルスポーツ・ネットワーク（JUSN）
運営協力：八王子市陸上競技協会
協力：社会福祉法人武蔵野会 八王子生活実習所 ザ・レインボーズ
桑都チアリーディングクラブ マルベリーズ
社会福祉法人 日本聴導犬協会

お申込み：定員になり次第しめきり お問い合わせ

☎090-6255-1161

✉uniekiahachi@gmail.com

↑問合わせ

↑申し込み

参加者
大募集！
参加費
500円



一に日傘をさしてもらって…。チームの一員として自分が必要としていることを発信すれば、メンバーが工夫したり一緒に考えたりしてくれるでしょう。

私達実行委員会が行なっているのは小さな種まきです。共生の町づくりのための小さな種まき。この駅伝での体験が誰かの心の中に残って、八王子だけでなく、どこか他の場所でも芽を出し花を咲かせてくれたら、こんなに嬉しいことはありません。

ユニバーサルと言いながら、弱小の実行委員会にできることは限られおり、障がいのある方への配慮はまだまだと自覚しています。その不十分さが障がいのある方に残念な思いをさせてしまうことでしょう。申し訳ありません。ただ、完璧にはできないかもしれないけれど何かはできる、そんな思いでいます。

今年も目標としていた 10 チームを組めるところまで応募がありそうです。皆様にご来場いただき、笑顔でたすきをつなぐチームの応援をしていただけたら幸いです。

チームにとっても応援の皆様にとっても、「笑顔がゴール！」です。

はちおうじユニバーサル駅伝大会実行委員会
代表 浅井奈美子

【キャリアウーワンとの日々】ハーネス八王子・鈴木由紀子

盲導犬のレジーナはいま 7 歳 9 カ月。私とペアを組んで歩き始めて 4 年半になる。コロナ禍の影響で私たちのお出かけの機会は異常なほど少なくなったけれど、学校その他に出かけてボランティア活動をしたり、時には電車を乗り継いで遠方の知人を訪ねたり……。散歩という日課も含めると、ほぼ毎日、何かの用事で出かけている。レジーナはキャリアウーワン（盲導犬としての特別な訓練を受けたお仕事犬）として、二人六脚で私と歩きながら、様々なことを学んで私を助けてくれている。レジーナと一緒にまちに出かけて嬉しかったことや困ったことを、折りにふれて綴ってみたい。



〈その１ やっぱり盲導犬がいい！〉

目が見えない私が独りで歩くときは、足もとの様子を確かめるための補助具が何か必要になる。近年、同行援護サービスと言って、障害者の外出介助について一定の研修を受けた人が派遣されるようになった。ヒトによる介助は最もありがたいバリアフリーサービスだとは実感しているが、そのサービスには一定の制限があり、依頼者の必要がすべて満たされるものではない。だから視覚障害者は、時に白杖で、そして私のように盲導犬を使って独力で出かけることを余儀なくされることになるのである。

私は盲学校小学部でその使い方を教わって以来 40 年以

上、白杖を使って出かけていた。お出かけの予定が出来ると相手先に電話をかけて、最寄り駅から目的の場所に私がたどり着くための詳しい情報を得て、頭の中で地図を作り上げる。それをしっかり頭に刻みつけて、いざお出かけ。

特に都内の高校に移ってから、私の歩く環境は一変した。都心は歩道が整備されていて広く、歩きやすい。車のスピードも時速 30km ぐらいで、それほど威圧感も感じなかった。また、絶えずたくさんの人がそばにいて、助け手には事欠かないという好条件。しかし、実際に現地に出かけてみると、途中の道が斜めに走ってい

て、果たしてこの方向に進んでいいのかと不安になり、見知らぬ通行人に声をかけて助けてもらうということも、たくさんあった。

ある日私は、銀座の大通りを渡って英語版の映画『風とともに去りぬ』を聴きに行くことにした。もちろん、アメリカ南部なまりのある英語は半分しか聴き取れなかったが、その作品の日本語訳を事前に読んで出かけたの



で、物語りの展開は大体わかったつもりである。とにかく、あらゆる手段を使って自分の願いを実現できるという達成感が、そのころの私の宝物であった。

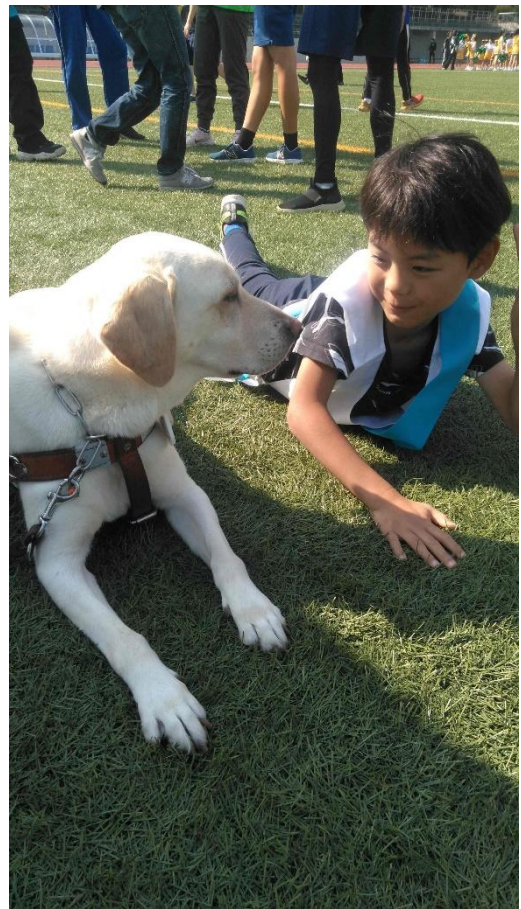
そして大学時代の4年間、途中に深さ2mの溝があるというスリリングな通学路を、ケガをすることもなく通いとおせたことも、一本の白杖のお蔭と感謝している。

通勤時も、前を歩く人の足音で距離感をはかり、新宿駅の人であふれ返った通路をスムーズに歩くこともできた。そのような体験を重ねて、一本の白杖が私の命をこんなにも守ってくれるのだと、喜びもひとしおであっ

た。

ところが、50代半ばになったころ、私は特に聴力や記憶力の衰えを感じるようになった。そして、ある日、私の前で立ち止まっていたお年寄りにぶつかって彼女を倒してしまったことをきっかけに、白杖で歩くことの限界を感じて、盲導犬歩行を決意したのである。

盲導犬は私の目になってくれて、前の人の速度に合わせて、ぶつからないように歩く。自転車その他の障害物があっても、うまく避けてくれる。路地や駐車場から車が出てくると、足を踏ん張って「行っちゃ駄目！」と伝えてくれる。白杖で歩いていたころは、一歩か二歩先の様子しか確かめられず、絶えず気を張って歩かなくてはならなかった。



一方、盲導犬は更に広い範囲の様子を目で見て、ハーネス（胴輪）の動きで私に伝えてくれるので、白杖で歩くときより、ゆったり気分で歩くことができる。独り歩きの手段として白杖と盲導犬とを比べると、盲導犬のほう

が安心して歩けると、15年間の経験から私は実感している。盲導犬は「身体障害者補助犬」の一種である。どこかに行くのに「案内」はできないが、見えない人が人混みや複雑な街の中を安全に歩くために大きな役割を果たしていることは確かである。

私の知人の中には、世話ができないからと言って盲導犬と暮らすことを、ためらう人がいる。「自分の世話も、ままならないのに、犬の世話なんかできない」と彼は言

う。しかし、基本的な世話のし方、犬との接し方は4週間も訓練所で寝泊まりしながら十分に教えてもらえる。訓練所を卒業したあとも、育成団体のスタッフがフォローしてくれることになっている。

また、犬はかわいいので「うんちだってかわいい」と思えるほど大切な家族と思える時が、きっと来るはずだ。

「やっぱり、私は盲導犬がいい！」

福祉課懇談会開催します。

2025年11月10日(月) 19時より八王子市生涯学習センター(クリエイトホール)10階の第2学習室で行います。今回も懇談的に行います。

今回の通信に案内を同封いたしました。お忙しいところと存じますが、皆様のご参加をお待ちしております。

会員交流会開催します。

2025年11月21日(金) 18:30~21:00 会員団体の交流会を参加いたします。会員以外の方も参加していただき、幅広い交流と親睦の機会になればと思います。以前にもお伝えしておりますが、再度今回の通信に案内を同封いたしました。ご参加をお待ちしております。

八障連のホームページ開設

八障連のホームページが開設いたしました。難病ネットワークの恒川さんや海東さん等に作成のすべてをお手伝いいただきました。難病ネットワークの皆様、大変にありがとうございます。まだ情報が揃っていませんが、休止していたブログも含めて情報発信していきます。どうぞ宜しくお願い致します。

八障連ホームページ URL <https://8shoren.org/>

